

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	KF	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	4	派遣国	タイ
派遣大学	タマサート大学		
期 間	2025 年 7 月 31 日～ 2026 年 5 月 29 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / <u>アパート</u> / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	×	冷暖房	○(冷房)	冷蔵庫	○
滞在費	約 (35,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(シャトルバス/公共バス) で、約 (15~45) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	40,000 円	
学用品購入費	5,000 円	制服、教科書一冊
交通費	3,000 円	タクシー、バス、電車等
交際費	10,000 円	
その他	円	
合計	58,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

比較的治安は良い方で、住んでいるエリアで事件や物騒なことは聞きませんでした。夜も女性一人で出歩けるくらいには問題ありませんでしたが、道端に物乞いをする方がいたり野犬がいたりとは注意は必要だと思います。観光地などでは、スリや盗難に気を付ける必要があります。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(103,930) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (バンコク)

【滞在都市：バンコク（タイ王国）】

タイ王国の首都であり、政治・経済・文化・教育の中心地です。人口は約 1,000 万人を超え、東南アジア有数の大都市として知られています。市内には高層ビルや商業施設が立ち並び一方で、歴史ある寺院や伝統的な市場も多く存在し、近代化と伝統文化が共存している印象です。

また、王宮や寺院、水上マーケットなど多くの観光名所を有しており、世界各国から多くの観光客が訪れる国際的な観光都市でもあります。

交通インフラが発達しており、BTS（高架鉄道）や MRT（地下鉄）、バス、タクシーなどが市民の主要な移動手段となっています。さらに、多くの大学や研究機関が集積しており、外国企業や国際機関の進出も進んでいることから、多様な文化や価値観が共存する国際都市となっています。

【学業編】

1. 大学情報

大学	タマサート大学	所在地	バンコク
最寄空港	ドンムアン国際空港(タープラチャンキャンパス)	空港からの距離	25~30 km
空港⇄大学	(エアポートバス、タクシー、エアポートライン) *移動手段		
学生数	39,000 人	留学生数	約 470 人
学部	Faculty of Law Thammasat Business School Faculty of Political Science Faculty of Economics Faculty of Social Administration Faculty of Sociology and Anthropology Faculty of Liberal Arts Faculty of Journalism and Mass Communication Faculty of Engineering Faculty of Architecture and Planning Faculty of Medicine Faculty of Allied Health Sciences Faculty of Dentistry Faculty of Nursing Faculty of Public Health College of Innovation College of Interdisciplinary Studies School of Global Studies Sirindhorn International College Pridi Banomyong International College Chulabhorn International College of Medicine Thai Khadi Research Institute Institute of East Asian Studies Thammasat University Research and Consultancy Institute Language Institute Thammasat Institute of Area Studies *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Liberal Arts(South East Asian Studies)/ Pridi Banomyong International College(Thai Studies) *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					Main Cities and Urbanization in Southeast Asia
午後		Gender and Sexuality in Southeast Asia	Contemporary Issues in ASEAN	図書館	Thai as a foreign language 1

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前				Thai Cuisine	
午後	タイ人の友達と遊ぶ予定が多かったです	Thailand ,ASEAN and the World	Cultural Diversity, Ethnicity and Identity in Southeast Asia	Lower Intermediate Thai	図書館

3. 履修内容

科目	Thai as a foreign language 1		
履修期間	8~12 月	単位数	3
授業内容／形態	初心者向けのタイ語クラス。 ペアワークやフィールドトリップが多く、日常会話表現を中心にスピーキングを練習する機会が多い。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Main cities and urbanization in Southeast Asia		
履修期間	8~12 月	単位数	3
授業内容／形態	東南アジアにおける都市共同体の誕生と発展、大都市への拡大を学び、それが現代の政治・経済・社会に与える影響に焦点を当てた授業。二人の先生によって行われ、理論や枠組みについて前半で学んだあと、プレゼンテーションやケーススタディを通じた事例について取り上げる。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	国際教養学部海外留学科目	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Gender and sexuality in Southeast Asia		
履修期間	8~12 月	単位数	3
授業内容／形態	主に対を中心に東南アジアのジェンダーやセクシュアリティに関して考察する授業。 ディスカッションやグループワーク、発表が中心の形式。 東南アジアだけでなく欧米や日本との比較も多く取り上げられた。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目	ジェンダー論	
	単位数	2	
	担当教員	横山 道史	

科目	Contemporary Issues in ASEAN		
履修期間	8~12 月	単位数	3
授業内容／形態	ASEAN の現代的な課題を扱い、ポップカルチャー、紛争、経済発展、政治的問題、社会問題などの時事的テーマを取り上げて進める授業。 グループワークでの課題提出やプレゼンテーションが多く、また、小テストも 3 週間に 1 回ほどの頻度で行われる。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Thai Cuisine		
履修期間	1~5 月	単位数	3
授業内容／形態	タイ料理の背景や哲学を学び、基本的な食材・技法を座学と実習を通して身に付ける科目。 授業の後半には実際にデモンストレーションや調理実習がある。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Lower Intermediate Thai		
履修期間	1~5 月	単位数	3
授業内容／形態	会話・タイ文字の読解中心でタイ語の運用力を高め、簡単な会話や短文読解ができるようになることを目的とした科目。 ペアワークやアクティブラーニングが中心の授業。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Thailand ,ASEAN and the World		
履修期間	1~5 月	単位数	3
授業内容／形態	<p>世界、ASEAN、タイの社会現象を政治・経済・文化の視点から分析し、多様性の理解とグローバルな視野を養う科目。</p> <p>2人の先生によって開講された。ディスカッションや個人、グループでのプレゼンテーションが重視されていた。</p>		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Cultural Diversity, Ethnicity and Identity in Southeast Asia		
履修期間	1~5 月	単位数	3
授業内容／形態	<p>東南アジアの多数派・少数派問題を通して、民族・アイデンティティと批判的思考力を養う授業。</p> <p>前半は先生による理論の説明が中心で、後半は生徒による東南アジア諸国のマイノリティの事例についてのプレゼンテーションが中心だった。</p>		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

1. 全体的な感想（留学生生活全体を通しての気づきや学び）

約 10 か月間のタイへの交換留学は、私にとって大きな挑戦であり、自分自身を大きく成長させる貴重な経験となりました。留学前は、国際開発や国際協力について学ぶことを主な目的としていましたが、授業や日常生活、ボランティア活動など、あらゆる経験を通して、異文化理解だけでなく、自分自身の考え方や将来の目標についても深く考える機会となりました。

授業では、ASEAN や国際開発、ジェンダーなどについて、多国籍の学生とともに学びました。同じテーマについて議論をしても、国や文化、育ってきた環境が異なることで意見や価値観が大きく異なることを実感し、自分の「当たり前」が世界では当たり前ではないことを改めて感じました。そのような環境で学ぶ中で、相手の背景や価値観を理解しようとする姿勢が身につきました。留学を通して得た大きな学びの一つは、物事を自分の視点だけではなく、相手の視点から考える力であると感じています。

また、タイでの生活では、日本との文化や生活習慣の違いに戸惑うことも少なくありませんでした。予定どおりに物事が進まないことや、言葉が通じず苦勞する場面もありましたが、その都度周囲の人に助けをもらいながら、自分なりに解決策を考え、行動することを繰り返しました。その経験を通して、困難な状況でも前向きに対応する精神的なタフさと、新しい環境や状況に応じて柔軟に考え、行動する力が身についたと感じています。留学生活では「まずやってみる」という姿勢を持つことの大切さを実感し、自ら一歩踏み出すことへの抵抗が少なくなりました。

特に印象的だったのは、現地で参加した虹の学校でのボランティア活動です。教育格差や貧困といった社会課題を実際に目にし、大学で学んできた国際開発の知識と現場で起きている現実を結び付けて考えることができました。子どもたちや地域の方々と交流する中で、信頼関係を築くことの大切さや、複合的な社会問題を解決することの難しさなどを実感し、自身の興味や関心も広がりました。留学後の今でもつながりがあり、また訪問予定です。

今回の留学を通して、語学力や専門知識だけでなく、タフさや柔軟性、相手の立場に立って考える力など、これから社会に出ても必要となる力を身につけることができたと感じています。そして何より、東南アジアの社会や人々と直接関わった経験を通して、将来は国際協力の分野で、現場に寄り添いながら社会課題の解決に貢献したいという思いがより一層強くなりました。留学生活では、不安や困難を感じることも多くありましたが、それらを乗り越えた経験が自分自身の自信につながっています。この経験を忘れることなく、今後も学び続ける姿勢を大切にしながら、自分の目標に向かって挑戦を続けていきたいと思っています。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学で得た知識や経験を、将来は以前から興味・関心を持ち続けている国際協力分野で生かしていきたいと考えています。留学を通して東南アジアの社会や教育の現状を実際に見聞きしたことで、現場を理解した上で課題解決に携わりたいという思いがより一層強くなりました。また、留学前から教育分野に強い関心を持っていましたが、現地で学び、生活する中で、教育課題は教育だけで完結するものではなく、政策や経済、インフラ、ジェンダーなど、さまざまな社会課題が複雑に関係していることを強く実感しました。そのため、自身の関心も教育分野にとどまらず、国際開発全体へと広がりました。

今後は、留学中に培った異文化理解やコミュニケーション能力を実践の場で生かすとともに、英語力はもちろん、タイ語についてもさらに向上を目指したいと考えています。また、多様な価値観や文化的背景を持つ人々と協働しながら、現場に寄り添って課題解決に取り組める人材へと成長していきたいです。また、留学を通して学んだ「マイペンライ（何とかなる）」というタイならではの前向きな考え方も大切にしながら、困難な状況に直面しても必要以上に恐れず、柔軟かつタフに挑戦し続けられる人でありたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

まず行動してみる姿勢が重要だと感じました。英語やタイ語に自信がなかったとしても、大学や学部では留学生向けのイベントが数多く開催されているため、自分から積極的に参加することで、多くの学びや出会いにつながると思います。一方、タイ語を少しでも勉強してから渡航すると、日常生活で役立つ場面が多く、タイ生活をより楽しむことができると思いました。私は、渡航前にタイ語の授業を受講したおかげで、なんとなく街中の文字が読めたり、簡単な言葉なら理解することができたため、現地での生活にスムーズになじむことができ、不安軽減にもつながったと考えています。

また、学部にもよるかと思いますが、留学当初は想像以上に日本人留学生が多いことに驚きました。同じ国の学生がいることは心強く、困ったときに相談できる存在がいることは大きな安心感につながりました。しかしその一方で、日本人同士で過ごす時間が長くなり、気づかないうちにその環境に甘えてしまう可能性もあると感じました。そのため、留学前に何を目的として留学するのかを明確にし、現地学生や他国からの留学生との交流を意識して生活することが大切だと思います。